

テーマは 「安らぎ」 災害への備えについて考えます。

安らぎ通信 NO. 1

## 平成29年 11月の安らぎ通信



南海トラフ 防災策示して 「どう動けば」「避難設備は」

政府「予知前提」転換受け 住民訴え

- ・気象庁は、巨大地震に関連する可能性がある地震や地殻変動などの異常現象を観測した場合、「南海トラフ地震関連情報」として公表することを決めました。
- ・11月から始まる情報発信と連動し、内閣府も揺れや津波の被害が想定される地域に、家具の固定や避難経路の確認を呼びかける方向で検討。
- ・被害の軽減と早期避難を促す狙いですが、各地域にどう情報を伝達するかや住民らの具体的な行動は決まっています。

※南海トラフ巨大地震：東海、東南海、南海の3つの震源域があり、マグニチュード9級の地震が懸念されます。国は建物の耐震化や早期避難の強化で、2024年までに人的被害の想定を8割減らす目標を立てています。

(2017年10月14日 日本経済新聞記事から抜粋引用)



ゆがんだ鉄道橋 続く混乱

南海の台風被害 設置99年前

- ・築100年前後の鉄道橋は全国に1万件以上。
- ・国土交通省は鉄道会社に対し、鉄道橋を2年に1度検査するよう省令で定めています。

古い鉄道橋 全国14000超 明治から昭和初期に建設

専門家「検査や補強を」

- ・鉄道橋の建設は、鉄道網が広がった明治から昭和初期にかけて盛んでした。
- ・1920年以前に完成し2012年度時点で使われている橋は、全国で14000を超えます。

(2017年10月27日 日本経済新聞記事から抜粋引用)



“たろうの店きごころ” 山忠木材株式会社

大阪市大正区千島3-18-9 TEL 06-6552-0781